

2月定例議会では代表質問に6人、個人質問に13人の議員が登壇し、質問を行いました。

代表質問

新清流

持続可能な行政運営を図れ

市長／既存事業のスクラップアンドビルドを徹底



あべ だみつ 議員
阿部 貞光

議員 交付税の一本算定に向けた具体的な取り組み状況は。また、将来像を作り、市民へ説明すべきでは。

市長 合併以来、合併特例の縮減と終了を見据え、行財政改革の推進や施設の長寿命化や維持管理の適正化を図ってきた。また、合併

特例債を活用した、まちづくり基金などを創設し有効な財源とし活用する取組みを推進している。さらに、新規・拡充事業の実施時には、既存事業のスクラップ・アンド・ビルドを徹底している。市民への周知は、栗原市のお金の使い道の配付などをおこなっているが、厳しい財政状況についても説明していく。

議員 地方分権の推進により、自治体の役割は増加している。職員の負担軽減を

考える時期でもあり、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の導入を求めるがどうか。

市長 先進事例では、保育所の入所選考を自動化し、職員が760時間かけて行っていた事務を約5分で完了。職員の選考結果とほぼ一致するなど、結果を出している事例もある。第3次行政改革大綱のICTなどの効果的な導入検討の取り組みに位置付け、具体的な導入について検討してい

平成31年度 栗原市のお金の出所と使い道

(栗原市予算概要)



「市民が創る くらしたい栗原」



どう使う大切な財産

汚染牧草処理を急げ

議員 汚染牧草の処理が一向に進まない。現在の取り組みと開始時期を聞く。

市長 一定の理解がなければ前に進められないと考えており、市内の市有地なり、広く土地を探している状況で、大分絞込みは行っている。推移を見守ってほしい。

く。



さと ちか 議員
佐藤 千昭

代表質問 市民くりはら

所有者不明の森林は

市長／意向調査で把握する



間伐された山林

議員 本年4月より森林環境税・環境譲与税が創設される。市内の所有者不明の森林や境界未確定の森林はどうなっているか。

市長 所有者の意向調査を行うため森林簿や森林台帳の整備を進めている。意向調査の過程で把握していく。

議員 市の林業の業務量が増加する。対応は万全か。

市長 業務委託や県からの指導を受けながら対応する。

栗原中央西線の整備を急ぐべき

栗原中央西線の整備を急ぐべき

議員 栗原中央西線の整備状況について聞きたい。

市長 平成25年から用地補償、平成27年からは道路改良工事に着手しており、平成31年度は、国道4号との交差点改良工事に着手予定で、市道左足本木線まで整備を進めていく。その西側は、追川にかかる橋梁を宮城県が実施する過疎代行事業として計画している。

議員 整備が遅れているが、

市長 事業着手後に2度の震災や用地交渉が難航したことで、全体の3割の進捗見込みとなっている。

議員 国・県への要望は、

市長 引き続き財源の確保に向け国、県に強力を要望。

議員 オリンピックの事前キャンプの取り組みは、

教育長 昨年開催した3か国親善試合で、参加されたドイツ、カナダの代表チームから施設を含む練習環境などについて高評価をうけた。各大会の情報収集を行い出場国に対して交渉していく。

その他の質問
防犯対策、有害鳥獣対策、なら枯れなど



すがわら ゆうき 菅原 勇喜 議員

代表質問
日本共産党
栗原市議団

事業費総額も示さない 巨大プロジェクトは許されない 市長／ご意見を踏まえて取りまとめる



約12億円の公園予定地

議員 栗原市中核機能地域の整備の基本構想(案)が初めて議会に示され、総合計画、実施計画に新規事業「中核機能地域(築館宮野地区)整備事業」9342万8000円(2019年度から2020年度の2年間)が盛り込まれた。そもそも、基本構想(案)が議会・市民の間で全く議論されないまま実施計画に盛り込んだ理由は何か。

市長 若者ワークシヨップ、市民等検討会議、高校生な

議員 生活創造拠点(以前のスポーツパーク予定地)、商業観光拠点(道の駅)、移住・交流拠点(くりこま高原駅周辺)それぞれの事業費、および総事業費はいくらか。

市長 用地取得費を除く概算工事費は生活創造拠点(以前のスポーツパーク予定地)約12億円。商業観光拠点(道の駅を計画)約5億円から7億円。移住・交流拠点(くりこま高原駅周辺)西側エリア、約25億円。東側エリア、約12億円。総額最大44億円である。

どのアンケート結果、意識調査の結果などを、市民のニーズとしてとらえそれを反映させたものとなっている。議員には昨年6月の議員全員協議会で基本構想の基本的な考え方と方向性を、今年2月8日の議員全員協議会では各拠点のコンセプトから導入機能、土地利用を含む構想(案)の全体について説明をした。なお現在パブリックコメントを実施中である。ご意見を踏まえ最終的な基本構想として取りまとめることとしている。

代表質問
政策フォーラム



みつづか あずま 三塚 東 議員

さらに打ち出せ栗原の成長戦略

市長／審議会の意見を聞くべきだった

議員「栗原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下、総合戦略)は、平成31年度が最終年度である。それぞれ掲げた施策の数値目標の達成状況をどう把握しているのか。また、今

議員 平成31年度の予算編成にあたり、総合戦略の施策に対する具体策は、

後の推移をどう見通しているのか。

市長 総合戦略の3つの基本目標を達成するため、「住まいる栗原シェアリングタウン事業」、「移住・定住促進のための情報発信事業」、「子育て応援医療費助成」、「保育料及び幼稚園授業料2人目以降の無料化」など、総合戦略の総仕上げとして、若い世代の定住促進や子育て世代の不安解消を推進していく。

議員 総合戦略の評価検証には、計画(P)・実施(D)・評価(C)・改善(A)サイクル体制が重要である。確立されているか。

市長 総合戦略の施策は、第2次栗原市総合計画(以下、総合計画)に盛り込まれており、年度ごとの成果をまとめ、検証しながら見直しをしている。

評価検証を行う体制には問題や課題はないが、毎年度、総合計画の審議会の意見を聞くべきではなかったかと思っている。



総合戦略の評価検証の窓口は企画部

代表質問
社民党
栗原市議団

安全安心な水道用水は公的運営で

市長／公共性を担保した運営方式である



さとう ひとむね 議員
佐藤 悟

議員 県は、広域上水道、工業用水、流域下水道の運営を一括して民間に委ねる「みやぎ型管理運営方式」を目指している。管路の維持管理・更新は、県直営。浄水場、処理場、ポンプ場

の運転・維持管理・更新工事は、コンセッションの対象としている。
①市の受け止めと参加は、どう考えているか。
②コスト削減が大きいとしているが、コンセッション方式と同様に一体化、広域化し、比較すべきである。
③水道用水は、市民の生命に直結する事業で、公的運営とすべきである。

市長 ①公共性を担保しな

がら、民間の力を最大限活用できる「公共施設等運営権制度」で、民営化ではないと捉えており、動向を注視していく。水道事業は、事業規模が小さく、メリツトが少ないと判断している。
②コンセッション方式のほうが削減効果は大きい。
③導入されても、公共性を担保した運営方式に変わりはないと聞いている。

議員 「(仮称)栗原市道の駅」は、基礎調査検討委員会の報告書では、3候補地・4事業方式・3運営主体を示し、今後の検討課題とした。「基本構想」は、平成31年度策定と言われているが、公約の実現には、全体計画の前倒しが必要である。

市長 基本構想は、平成31年度中に策定し、スピード感を持って、出来るだけ早く成果を出せるよう、鋭意進めていく。



おいしい水を提供(新田浄水場(築館))

一市一商工会の推進を

市長／早期実現に向け働きかける



いがらし いさみ 議員
五十嵐 勇

代表質問
新政くりはら



統合が待たれる4商工会

議員 市内4商工会は、会員の高齢化・減少などから厳しい状況にある。上部などから従来の経営改善普及事業への専念、イベント事業の中止、見直しなど指導されている。以下何う。
①市の助成額と助成基準は。
②商工会毎の職員削減計画は。

③統合は避けて通れないと思うがどう捉えているか。

市長 ①栗原南部1907万円、若柳金成1125万円、栗駒鷲沢900万円、一迫花山731万円で合併

前の10町村の補助金額を基本に合併時から今年度まで同額交付している。
②宮城県商工会連合会の「商工会等職員定数管理計画」では平成33年度から段階的に平成35年度までに栗原南部13人から3人、若柳金成8人から1人、栗駒鷲沢8人から4人、一迫花山6人から2人がそれぞれ削減となっている。
③商工会法の基本原則や市の商行政との一体性の確保などから一自治体一商工会が望ましいと認識している。商工会が自主的に協議を進め取り組むべきものであり、商工会側でも平成21年から意見交換を重ねているが、現在まで具体的な動きとなっていない。そのため市長と市内4商工会長の懇談会などで商工会の財政基盤の強化、事業の効率化、市内商工業の一層の振興、発展が見出せる。さらには市の財政状況も厳しくなることから合併を促している。一市一商工会が早期に実現できるようにこれまで以上に強く働きかけていく。



さわべ ゆきひろ
澤邊 幸浩 議員

地域自治の拠点づくり推進を問う

市長／市民協働を推進するための環境づくりに取り組む



観光拠点として期待されるジオパークビジターセンター

議員 栗原市が取り組む行政改革の中で、市民協働の「環」として「地域自治の拠点づくり」が上げられる。地域住民自らが各地区の地域特色を活かしつつ、地域が必要とする基本構想の計画を策定、多様な主体をもって協働による様々な取組を自主的に行う。地域自治組織の機能を強化し、行政においては、制度的・財政的・人的・技術的な支援を行う。この地域自治拠点の形成こそが行政改革の根幹になり得ると思うがどうか

市長 栗原市の行政改革においても、市民協働を推進する環境づくりとして、市民と行政との役割を明確にする

するとともに、地域づくり協議会の設立や地域リーダーの育成など制度面・財政面をはじめとする支援体制の構築を進めて行きたい。

観光施設等の入場者動員について

議員 新年度よりジオパークビジターセンターがオープンされる。市内において観光施設や物産館、ミュージアム施設などのマネジメントが収支に見合うだけの運営がなされているのか。また入場者の動員に向けてどのような取組が必要であり、入場者増加のために関係機関の連携や連絡協議会といった体制は取られているのか伺う。

市長 市内観光施設、文化施設などへの入場者増加につなげる取組については、施設の情報発信を積極的に行っており、各施設が創意工夫を持って営業努力により、誘客の増加に努めている。また市内観光関係団体との連携については、「栗原地域観光連携懇談会」を立ち上げ連携体制を図っている。

野球部グラウンドへの再度の質問

市長／新設に向けて密接に協議したい



かま ま かつよし 議員
相馬 勝義

議員 築館高校野球部グラウンドについて再度の質問である。これまで、県との打ち合わせを3度行っているとの答弁であるが、協議



現在の築館高校野球部グラウンド

5年目を迎える中での進捗状況を聞きたい。

市長 協議については平成29年12月以降5回行っている。内容としては、今後の課題を整理しながら、新設グラウンドの造成範囲、具体的な活用方法、整備にかかるスケジュール、現グラウンドの譲渡時期などの調整をしている。引き続き、

人口減少時代の対応

整備に向けて、密接に協議しながら進めていきたい。

議員 第2子が生まれた世帯への支援策として、高校を卒業するまでの継続した経済的支援の必要性、さらには、第3子以降の子育て支援も、インパクトのある支援策が必要。出生数を増やしながら、女性の社会進出も増やせる施策について聞きたい。

市長 市としては、国の制度に上乘せし、幼稚園・保育所の同時入所、第2子以降の子の無償化を行っている。さらに、すこやか子育て支援金として、出生祝金、入学祝金など、子育て支援策では、県内トップクラスの支援を行っている。さらなる支援策については市の財政状況を検証しながら、総合的に調査・検討をしていきたい。

公約した栗原中央病院に産科創設できるか

市長／任期中の産婦人科開設は難しい



さとう ひろゆき 議員
佐藤 久義

議員 市長は栗原中央病院に全科初診の受入れと産婦人科の創設を公約している。公約を信じて3人の子どもを出産した30代の女性社員と多くの市民が産婦人科が出来ることを信じて一票を

投じている。公約は政治家にとって政治生命をかけるほど重い。当選してから今年の5月で2年を迎える。市民の関心が高い産婦人科の開設時期はいつか、仮に公約を守れない時は市民への謝罪が必要ではないか。

市長 公約の医療の充実は若者定住を目指すためである。産婦人科の開設はハードルが高く医師の招へいも大変厳しい。これからも頑



栗原中央病院

張っていくが私の任期中の開設は大変難しい。公約したとおりにいかない現況にじくじたる思いである。

議員 くりでんが廃線になって12年が過ぎる。現在まで駅構内は整備されていない。岩ヶ崎地区の中心部として非常に景観が悪いが敷地の活用はどうか。

市長 平成20年に策定した岩ヶ崎地区基本構想ではくりでんの記憶を継承するため公園的な利活用の案を示しているが、今年度でみちのく風土館の指定管理も切れることから事業年度で方向を示す。

議員 道の駅設立を公約している。平成31年2月に基礎調査の報告があった。基礎調査検討委員会の統一内容か。

市長 会議のたたき台として資料を提示し意見を修正しながら最終的に報告になった。一方的に進めたわけではない。

規模の大小を問わない農家支援の強化を

市長／農業機械購入助成制度の計画がある



いぬま たけまさ 議員
沼倉 猛



家族総出の種まき

議員 国はTPPなどの対応策として国内農業経営の大規模化や企業化をさらに推進し、農産物の6次産業化や農産物の輸出増などで農業を発展させるとしているが市の対応は。大規模化優先施策だけではなく規模の大小を問わず頑張っている農家への市独自の支援策を強めるべき。

市長 農業の担い手不足から農地集積や集約化を推進することは必要である。

通学支援の在り方を見直せ

議員 高清水地域の小学生の通学支援はスクールバス対応になる予定だが2キロ・4キロ規制がありバスを利用できなくなる地域が出る。支援については規制を適用しない支援を求める。

教育長 2年生までは2キロ、3年生以上は4キロ以上とする通学支援は市内統一のルールであり適用する。

生きがい活動統合を見直せ

議員 高清水での生きがい活動支援通所事業は3カ所の会場で行われているが1カ所に統合する計画がある。効率化で統合するのは中央1極主義になり周辺地域をないがしろにするものだ。

市長 高清水地区を除く9地区では1カ所で行っている。事業の効率化や経費節減の面から他地区と同様に高清水でも1カ所とする。



たかはし かつお 議員
高橋 勝男

医師・看護師・医療スタッフに選ばれる病院とは 市長／当直、拘束32時間勤務の改善に向け検討

部署	内科	整形外科
副院長	佐藤 修一	部長 大泉 晶
部長	木田 真美	部長 高橋 光浩
部長	宇佐美 修	医長 永元 英明
部長	村田 次啓	医員 藤盛 理子
部長	吉越 仁美	
副院長	吉野 祐貴	麻酔科
副院長	山田 剛	部長 杉山 公利
副院長	佐々木 章裕	小児科
副院長	伊藤 俊輔	部長 齋藤 龍彦
医員	柚木 敬仁	中村 匠汰
岡田 将平		皮膚科
小保 文彦		

常勤医師の招へいで病院事業の経営改善を

議員 栗原の医療は、常勤医師の不足などから文字診療所の廃止や鶯沢診療所の歯科休診、瀬峰診療所医師の非常勤化が行われる一方患者数の減で収支状況も悪化している。医師の労働条件はどうなっているのか。

病院管理者 医師給与（時間外含み）は栗原市が49歳で148万4000円、大崎市42歳で147万円、登米市が54歳で174万4000円となっている。当直は、病院によって違

うが月1回から4回で、拘束時間は、当直がある場合には、32時間になる。医師の負担軽減に向け、外来診療や日当直などで、大学から応援を得ているが、応援医師体制の強化、当直明けの勤務改善に向けて検討する。

議員 地域医療を守るためには、医療現場の実態と患者の思いを理解しあう、病院・住民・行政による協議機関が必要と考えるが。

病院管理者 地域医療の現状を市民の皆さんに理解してもらうことは重要ですが、「栗原市立病院経営評価委員会」の報告を踏まえ、地域医療を継続するための方向性を出した上で、市民との意見交換の場を設けたい。

議員 栗原市では、年間50人位の方が百歳を迎えている。長寿を祝い、内閣総理大臣や県知事からは祝詞などが贈呈されるが、市からは祝い金（20万円）だけで記念に残るものがない。祝詞などがあっても良いのでは。

市長 市からの祝詞の贈呈は、近隣自治体なども調査し、残る形で検討する。

基本構想では高校生、子育て世代、市民の意見集約を

市長／新検討委員会の委員、市民の意見を聞き推進する



さとう しょうじ 議員
佐藤 庄喜

議員 道の駅の待望論は市政懇談会で出た。①4回の委員会でも基礎調査は終了か。②中核機能地域の商業観光拠点内の評価点は高いが更に平坦地を考へては。③委員より機能の吟味、誘客対策あり。住みたい田舎、東北1位の栗原。高校生、子育て世代などの意見集約は。④通年集客のため観光歴史、遺跡、偉人などの各コースの整備は。⑤建築資材は、地元材、5JA組合、誘致企業の商品活用は。⑥地元企業等の設計コンペは。

市長 ①基礎調査は終了。②3候補地は地形に特徴あり新委員の議論を頂く。③新委員、市民の意見重視。④候補地の適状に合わせた機能と先進事例も参考。⑤

議員 家庭用太陽光発電の火災は9年間で127件発生。①設置時、規制条件、指導は。②家庭、会社、事業所等の設置内容の把握は。③火災、事故は。④ソーラー設置の空家チェック体制は。⑤山間地のメガソーラーの火災時、消防化学車等が入るスペースの確保は。

市長 ①消防法上、規制ない。②補助金交付の475件と固定資産税課税の164件を把握。③火災の発生と感電による救急搬送事例もない。④設置者が産業廃棄物として処分。栗原市空家等対策計画により管理指導する。⑤火災防ぎよを目的とした道路などの確保の規制はないが、高圧変電設備と蓄電池設備の届が出された時、周辺環境も確認。



にぎわう栗原の「道の駅路田里はなやま」

⑥地元材、誘致企業商品、デザインなどは新委員などの意見を踏まえ基本設計で検討。

平成31年度の重点施策は

市長／定住宅地分譲の促進を図る



議員 高橋 渉

格としたことから、売れ行きは大変好評である。

議員 平成31年度の重点施策としては。

議員 平成26年度より、若者定住対策を目的として宅地分譲造成事業に取り組んでいるが、その進捗状況は。

市長 魅力ある栗原市をPRしながら、子育て世代などが求め易いような分譲価

格としたことから、売れ行きは大変好評である。

市長 若者の定住促進を引き続き取り組む。分譲宅地を整備し、子育て、産業、教育、交流など総合的の見地から事業の推進を図る。

議員 「住みたい田舎ランキング」で全国9位、東北で1位との評価を得た。受け止め方と今後の政策は。



若者定住の要 分譲住宅(志波姫運動公園)

市長 市の持つ自然の豊かさ、人の温かさ、子育て支援策などが総合的に評価されたものと考えている。今後は評価に甘んじることなく、栗原市に住んで良かったと感じてもらえるよう努力する。

ホッケー人口の育成と継続

議員 市は「ホッケーのまち」として国内のみならず、海外にも情報を発信している。しかし肝心の地元の競技人口、特に中・高校の減少が著しい。その原因の1つとして、県内の大学にホッケー部が無い。競技の普及対策と県内大学への設置要請は。

教育長 市内の小学校においてホッケー教室を実施し、競技人口の確保、拡充に努める。大学へのホッケー部の設置要請は考えてはいない。

「肉用牛」振興で一点突破!

市長／スピード感を持って対応



議員 佐藤 範男



高価格が連続する薩摩中央家畜市場

議員 市の農業産出額は東北で10位、県内では3位である。分野別では、米に次ぐ肉用牛の順で、今後、肉用牛への期待感が高い。そこで、環境整備の観点から、市の3有機センターの処理能力と搬入量、堆肥生産と販売などの運営実態は、どうなっているのか。

市長 稼働データを見ると、築館と栗駒、金成でまっちであり、課題も多い。金成は、能力を超える搬入があり、山積みになっている。職員体制は、繁忙期には増員している。ランニングコストは、3センター合計で年間約2000万円の持ち出しである。

議員 畜産農家と耕種農家の有機的な連携を強化するため、農業協同組合が指定管理者として運営に当たることが肝要と考えるが。

市長 この課題は、合併後から農協と協議を継続している。今後、総点検を実施し、指定管理料や職員配置も含め、協議を急ぐ。

議員 1月に、全国3位の和牛子牛取引価格を誇る薩摩中央家畜市場と、スーパー種雄牛を飼養する徳重和牛人工受精所を視察した。

市内の繁殖メス牛のうち、この市場から導入した頭数は、いくらか。

市長 市内の繁殖メス牛は、4411頭で、農家数は632戸である。導入頭数は、1621頭で、徳重受精所は1052頭である。

議員 導入繁殖メス牛への助成制度を、検討すべきだ。

市長 導入実態も理解した。有効策の検討を重ね、スピード感を持ち対応する。



おの きゆういち
小野 久一 議員

中核機能地域整備は まるで箱モノ行政でないか

市長／都市としての整備をするのは
やっぱり今でしょう

議員 中核機能整備の基本構想について聞く。生活創造拠点（築館宮野地区）の築館高校グラウンドエリアは宮城県の事業であるが、協議はどこまで進んでいるか。また南側に公園ゾーンとあるが、その目的は何か。管理運営はどこになるか。

市長 築高グラウンドは整備のスケジュールなどについて調整しているところだ。中核機能地域形成の基本的な考えはオール栗原を牽引する中心地域として市の「へそ」となる地域を創ることである。広場・公園機能、多世代交流機能などを有するエリアとして公園をイメージした。財源は補助金や合併特例債などを考えているが具体的には基本計画の中で検討する。



公園（旧スポーツパーク予定地）のB案

議員 「道の駅」のメインは何か、栗原市で他の地域にない特産物は何か、また既存の市内産直施設との競合や生産物や生産者の取り合いにならないか。

市長 何がメインか、置く商品などは今後検討する。地酒や正藍冷染、若柳地織などあるが特産物の掘り起しや商品開発も検討する。「道の駅」を訪れた方が市内の別の産直施設に向かうような相互の連携ができる仕組みを検討したい。

議員 栗原市が「住みたい田舎」の東北1位になったのは充実した子育て支援と栗駒山や伊豆沼の自然が評価されたものだ。市長のやることとしていることは昔の箱モノ行政ではないか。

市長 今、都市としての整備をしないですすめるのか。やっぱり、今でしょう。

特殊詐欺の被害防止を

市長／手口が年々巧妙化、多様化している



みつひろ
三浦 善浩 議員

して有効な手段と認識している。経費の面なども含めて今後、あわせて検討していく。

AED設置場所の表示を

議員 特殊詐欺被害の報道が連日のように有り、後を絶たない。①自動着信拒否装置を貸与する事業を導入してはどうか。②自動通話録音機を貸与する事業、購入費用への助成をする事業を導入してはどうか。

市長 ①②被害防止対策として

議員 市役所本庁舎や金成庁舎など上層階がある公共施設では、AED設置場所がわかりづらいところもある。玄関、各階の階段付近やエレベーター内などに設置場所を案内（お知らせ）するステッカーの表示をし

てはどうか。

市長 現在、AEDを設置している市の施設は、91カ所である。施設内の設置場所などを確認しながら、実施をしていく。

LGBTの理解を を広げ深めよ

議員 市としての課題は。

市長 市民一人一人が理解するまでに至っていない。

【その他の質問項目】

- ▼市内への就職学生に対する奨学金制度を。
- ▼特別教室や体育館にもエアコンの設置を。
- ▼地方交付税について。
- ▼一般質問の「その後」。
- ①千葉市長に「イクボス宣言」をしていただきたい。
- ②「SNSを活用したいじめ相談を受ける事業の導入」について。

振込め詐欺 対策

高齢者の
防犯対策に



電話 録音装置

振込め詐欺対策『電話 録音装置』

公有財産の活用で財源確保をせよ

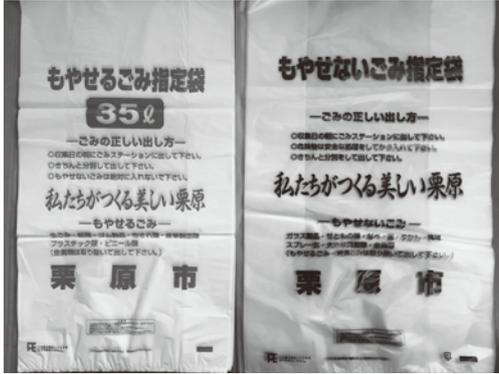
市長／やる前提で進んでいきたい



高橋 将 議員

議員 公有財産を活用した財源確保手法として指定ゴミ袋への企業広告の導入や施設のネーミングライツなどがある。メリットとして

税外収入による政策的経費の確保で行財政改革が推進地域貢献によるブランドの向上、ターゲットを絞った



公有財産を活用した広告事業に期待

広告。収益は住民サービス向上へ還元。自治体・企業・市民それぞれにメリットがある。税外収入の獲得についてどう考えるか。

市長 積極的に取り入れるべき。やる前提で進んでいきたい。

小学校プログラミング教育の準備状況は

議員 ①現在の準備状況は。②教える人材は。③中学校との連携は。④現状の課題は。

道の駅の今後について

議員 ①基礎調査の結果は。②検討委員の意見を議会に示すべき。③他広聴事業で市民意見が反映されているか不安が残る。今後のあり方は。

市長 ①報告では候補地を3箇所選定。運営主体、運営方法、施設機能、整備規模は31年度に計画している基本構想で検討していく。②後ほど資料配布をさせていただく。③公明正大に報告できるように努める。

今後の商工観光行政は

市長／集中投資して拠点をつくる



佐々木 嘉郎 議員



元気な商工観光を望む

議員 市の描く魅力ある商工観光行政とはどのようなものか。

市長 花山で買い物弱者対策の移動販売車の運行支援。商店街などへの誘客と賑わいの創出のため「山の駅くりこま」をオープンした。大正大学との連携に取り組んできた。

議員 小規模事業者経営改善資金(マル経)で、一事業者当たりの年間補給金は

いくらか。
市長 平均1万3000円くらいと見ている。

議員 マル経資金実質利率は栗原市0.85、大郷町0.11、大衡村・大和町0.55。将来はもつと引き下げるべきでは。

市長 商工会と相談し、使いやすいよう見直しをしながら、より良い方向にもっていききたい。

議員 本市の観光客が大きく減少した原因は何か。

市長 夏の長雨が一因。
議員 中核機能地域として中央病院周辺、国道4号バイパスと県北高速幹線道の結節点周辺、高原駅周辺の3箇所を開発したいとある。規模はどうか。

市長 県内一広い面積。すべての公共施設やインフラの維持は困難。集中投資をして拠点をつくる。

議員 拠点や道の駅をつくることで、市内の頑張っている業者に影響はないか。

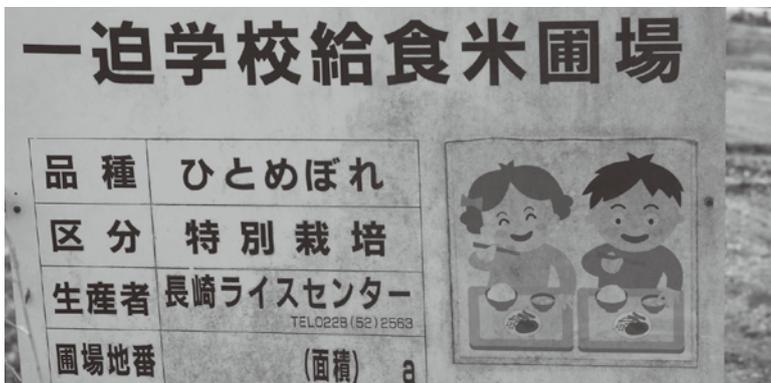
市長 栗原は磨くと光るものが多い。道の駅自体が、1つの観光のメッカになることもある。規模、誰が事業主体か、どこにつくるかなど、議論していきたい。



さとう ふみお
佐藤 文男 議員

学校給食費の無償化を

市長／無償化は考えていない



責任をもって生産

議員 栗原市は、地方への移住をテーマにした雑誌で住みたい田舎ランキングで東北1位、全国9位となり他自治体と比べ魅力ある田舎と評価された。これは子育て支援策の充実が評価されたものと思う。さらなる子育て支援策として、学校給食費の無償化を実施し移住者人口をふやすべきだ。

教育長 幼稚園・小・中学校ともに無償化した場合は約2億9000万円となる。

多子世帯の対策で無償化した場合は、2人が同時就学している児童生徒数は2046人で約1億7000万円になり、少子化対策、定住など促進対策として無償化をする考えはない。

1地区1公民館と地区コミュニティ活動について

議員 市内公民館の平準化を図るためとして、1地区1公民館の構想が示されたが、旧小学校単位にある公民館は、地区コミュニティ活動の拠点として利用されることにより、今後、建物を含めどのような位置づけになるのか。また、建物が老朽化し建て替え時期が来た場合の対応はどうか。

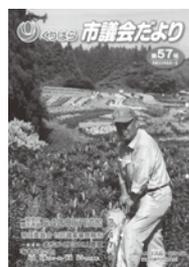
教育長 地区の公民館を生涯学習の拠点となる施設として整備していくもので、拠点となった公民館については、情報提供機能や図書館機能の充実などを行うことで社会教育、生涯学習機能を高めていく。拠点以外の公民館については、地域の方々と意見交換を行いながら、コミュニティ施設などとして検討していきたい。



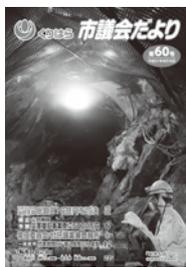
協力していただいた迫桜高校写真部



第59号



第57号



第60号



第58号

くりはら市議会だより
第57号～第60号

表紙を担当 迫桜高校写真部

この度、私たち迫桜高校写真部が市議会だより第57号から第60号の表紙写真を担当させていただきました。この活動を通し、私たちは多くの貴重な体験をすることができました。栗原市の方々にどのような写真を届けることで栗原市の魅力を伝えることができるか部員で考え、角度や光など被写体となる人であったり伝統をいかに美しく見せるかにこだわって作品を作ってきました。また、この活動のおかげで栗原市内を散策する機会が増え、地域の方々とお話をする機会があったり、紅葉の栗駒山から見る栗原市の絶景に魅了されました。本校写真部の部員は登米市民も多いため、栗原市について知ることができ、とても勉強になりました。魅力的な市であることをご実感することもできました。これからの様々な機会を通じて本校写真部としてまだ誰も知らない栗原市のすばらしい魅力を届けていけるよう努力していきたいと思っております。



スポーツのチカラで

街づくりを

私の、小学生の2人の子どもはサッカーをしています。練習する場所やスポーツをする環境が少ないと感じています。子ども達にはスポーツを通じて様々な経験をさせてあげたい。目標達成のために自分たちで工夫することや挑戦することの大切さを学んだり、自らの夢を思い描き、その実現に向けて何をすべきかを考えていく。こうした、スポーツを通じて子ども達が自分の夢を見つけて、その実現に向けて走り出す後押しをしてほしい。ますます進む少子化により、やりたいスポーツがあるのに存在しないという環境の中では、これから担う子ども達の運動離れやコミュニケーション不足にも繋がってくるのではと思います。総合型地域スポーツクラブなど、地域で活動しているスポーツ団体と連携し、子ども達のスポーツ活動を総合的に推進し、子ども達がスポーツに関心を持ち楽しむ喜びを味わう機会を栗原市で整えていただくとお願いいたします。



はせがわ ながたに あきさん
(築館)

私もひとこと



まさき まさき 昌衛さん
(若柳)

畑岡獅子舞の石碑 歴史的発見

弥助ばやし畑岡獅子舞の石碑歴史的発見。獅子舞保存会の会長を引き継いだ時、古文書があり古文書には寶暦10年(1760)に奉納と書いてありました。獅子舞のルーツを探すため、岩手県一関市にある自鏡山(偶然にも前年に登る)吾勝神社に参詣し石碑を探したが見つからず、平成22年7月8日友人5人と再度参詣し探した所、259年前奉納した石碑を発見、さらに帰り道畑岡の獅子そっくりで背中に17個の渦巻紋様が付いた狛犬をも発見しました。獅子舞の石碑を深く研究する使命に駆られ、東北歴史博物館の副館長、笠原学芸員に「石碑の九曜紋 梵字の意味 弘法大師 伝教大師 吾勝神社 保呂羽神社 細合十太夫 一迫畑岡村」を尋ねると「これは文化財になり得る石碑」と言われました。これからは畑岡獅子舞出演すること拓本の石碑を立て披露し獅子舞の歴史の伝承に励んでいきたいと思えます。

あとがき

今年の冬は、寒さはあれど極端に降雪の少ない状況で、今後の水不足が心配されます。ゲリラ豪雨など災害のない年であってほしいと願うところです。5月1日には皇太子さまが天皇陛下に即位改元され、新たな歴史が始まります。何事にも真剣に取り組んで行かなければと気を引き締めている一人でもあります。

新たに9人で構成された、広報編集調査特別委員会による市議会だよりの編集・発行も第60号で最後になります。市民の皆さんに、手に取ってほしい・読んでほしい、の一心で編集に取り組んできました。いかがでしたか。阿部 貞光

広報編集調査特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 佐藤 悟 |
| 副委員長 | 阿部 貞光 |
| 委員 | 佐藤 喜 |
| 委員 | 小野 久一 |
| 委員 | 澤邊 幸浩 |
| 委員 | 鹿野 芳幸 |
| 委員 | 高橋 将 |
| 委員 | 菅原 勇喜 |
| 議長 | 長瀬 健治郎 |